

対話的な学び



富山県総合教育センター 教育研修部

教師の問いかけ

- 考えの根拠や思考の流れが分かるよう言ったり書いたりするよう助言する
- 比較する視点を明確にした話合いの場を設ける
- 構造化した板書で、子供の考えを可視化する
 - ・ネームプレート
 - ・思考スキル
- 考えの共通点や相違点に着目する
- 考えの中の小さな違いにまで着目することの大切さを意識付ける

対話的な学び



互いの考え
を比較する ⑥



互いの考えを 比較する

- 考えを比べながら、進めた
- 「私は～と思うけど、君は～なんだね」

教師の問いかけ

- 課題解決につながる情報提供を行う
- 多様な情報収集の手段を提供する
 - ・本
 - ・インターネット
 - ・公的機関
 - ・身近な人 等
- 情報の信憑性を吟味することを伝える
- 情報の整理の方法を提示する
- 収集した情報の共有の場を設ける

対話的な学び



多様な情報を収集する ⑦



多様な情報を収集する

- いろいろな考えを集めて考えた
- 「自分たち以外の人、どう思うかな」
- 見つけた情報を、もう一度見直して、良さや問題点を見つけようとした

教師の問いかけ

- 考えをつくる過程や根拠等をノートやワークシートに残すようにする
- 互いの思考を可視化できるようにする
 - ・短冊
 - ・ホワイトボード
 - ・学習シート
- 追体験の場を設定して、考えを共有できるようにする
- 互いに意見交換したり確かめ合ったりする場を設ける

対話的な学び



思考を表現に
置き換える

⑧



思考を表現に 置き換える

- 考えを、文や図に表して考えを伝えた
- 相手に分かりやすい表し方を工夫した

教師の問いかけ

○他者へ説明することの意義を確認する

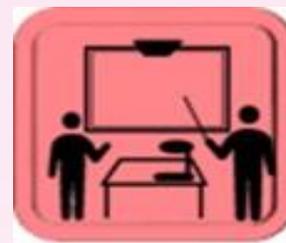
- ・ 知識を再構成する
- ・ 情報の共有をはかる
- ・ 活動の目的を明確にする
- ・ 相互に評価する など

○目的や相手に合わせて、伝える方法を選択できるようにする

- ・ 図、式、言葉
- ・ レポート、新聞
- ・ ポスター
- ・ プレゼンテーションソフト 等

○質問や疑問を受けて再検討する時間を設ける

対話的な学び



多様な手段
で説明する

⑨



多様な手段で説明する

- 伝える手段を工夫して説明した

教師の問いかけ

- 子供の思考の助けとなる人的教材を探す
- 先哲の具体的な考えを、学級全体で共有する
- 活用の目的と視点を子供に明示する
- 自己の考えを形成するよう、自分はどう考えるか問いかける

対話的な学び



先哲の考え方を
手掛かりとする

10



先哲の考えを手がかりとする

- 本や資料を手掛かりにして考えた
- 昔の人の考えを参考にして考えを深めた

教師の問いかけ

- 目的の明確な話し合いの場をつくる
- 必要感のある交流の場を設定する
 - ・時間
 - ・タイミング
- 目的に合った集団の形態や交流の方法を工夫する
 - ・人数
 - ・形態
 - ・まとめ方
 - ・ゴールの姿
- 複数の視点や根拠をもとに思考・判断する課題を提示する
- 意見の相違を確認し合い、課題に対する結論を練り上げる

対話的な学び



共に考えを
創り上げる **11**



共に考えを創り上げる

- 友達の考えを聞いて、納得したり、考えが変わったりした
- 友達と一緒に、考え進めた

教師の問いかけ

○集団で解決する必要のある課題を設定する

○課題解決のゴールをイメージする

- ・お互いの考えを理解する
- ・最適解・納得解を創り上げる

○解決する方法が多様な課題を設定する

○考える視点を共有する場を設定する

○予想に対する意見を話し合い、解決方法について吟味する場を設定する

○相互評価の場を設定する

対話的な学び



協働して
課題解決する⑫



協働して課題解決する

- 課題解決に向けて考えを出し合った
- 一緒に活動したおかげで、分かったことやできたことが見つかった